



理事長 岩本 英希
医学博士。日本内科学会認定総合内科専門医、日本肝臓学会認定肝臓専門医、日本消化器病学会認定消化器病専門医。



院長 山口 泰三
医学博士。日本肝臓学会認定肝臓専門医、日本消化器病学会認定消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医。

岩本内科医院



【診療科目】内科、消化器内科、肝臓内科
【病床数】19 床
【診療時間】
月～金 8:30～12:00/14:00～18:30
(火・木は 15:00～18:30)
土 8:30～13:00 日・祝休診

〒802-0832
福岡県北九州市
小倉南区下石田 1 丁目 2-8
TEL.093-961-4118
<http://www.iwamoto-clinic.jp/>

全国から患者が集まる肝がん治療のオピニオンリーダー

肝がん治療に注力する 地域のかかりつけ医

1990年に先代の故・岩本昭三医師が開設して以来、地域のかかりつけ医としての役割とともに、先進的な肝がん治療を担い続ける岩本内科医院。その理念は「最良の医療提供」と2代目理事長の岩本英希医師は話す。CT、内視鏡、エコーなどを完備する同

院は、がんの早期発見・早期治療に尽力する。「年間100人^{※1}以上のがんを発見し、適切な治療へと繋げています」と院長の山口泰三医師は語る。

肝がん治療においては、転



「絶対に諦めない」をモットーに、転移・進行肝がんの血管内治療に注力する

移・進行がんも対象とし、高い技術力をもって根治を目指すカテーテル治療（血管内治療）に注力。その実績は開業以来のべ約5千件^{※2}を誇り、近年の治療件数は年間500件を超える。

岩本理事長は「絶対にあきらめない」がモットー。標準治療を大事にしつつも、私どもならではの技量や経験を駆

使し、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供できるように、努めています」と強調する。

そんな同院のカテーテル治療の大きな特長は、血管造影CTを用いた肝動脈化学塞栓療法（門脈動脈同時塞栓療法）と肝動注化学療法でより高い効果を追求している点だ。

塞栓物質を投与し、がんに栄養を送る動脈を塞ぐのが肝動脈化学塞栓療法だが、血管造影CTを駆使し、がんの栄養動脈を同定し、末梢の門脈が描出されるまで薬剤を投与する門脈動脈同時塞栓療法を行っている。肝動注化学療法では動脈にカテーテルを埋め

込むことで常に抗がん剤を流せる状態にし、がん細胞の効果的な縮小が期待できる。両療法は難易度が高く、手掛ける医療機関は少ない。そのため他院で治療が難しいと宣告された患者の治療にあたるケースも多い。

「質の高い医療を追求し、多くの患者さんに希望を持っていただき、心までがんにかからないように全力を尽くしていきたい」と岩本理事長。再発が多く、他のがんに比べ予後がいいと言えない肝がんや転移性肝がんを患う人にとって、同院はこよなく心強い存在だろう。

取材／測浩子

治療実績（各年1～12月）

	TACE	システム	動注	留置	総件数
2017	186		274	42	502
2018	156	72	252	72	552
2019	112	107	224	53	496
2020	96	82	189	47	414

※1 2020年1～12月 ※2 1990年6月～2020年12月